

大学を核にした BCP の普及活動—徳島からの報告—

徳島大学環境防災研究センター 正会員 中野 晋
 徳島大学環境防災研究センター 正会員 ○騎馬 貴子
 徳島県商工労働部商工政策課 安西 弘詞

1. はじめに

徳島県では南海地震対策の一環として、2006 年から県、商工団体、日本政策投資銀行、徳島大学、事業継続推進機構（以下 BCAA）が連携して、BCP 策定推進が進められてきた。特に 2007 年からは徳島県 BCP 研究部会（座長・中野晋）を設置し、BCP 策定を希望する企業が自由に参加し、情報交換できる研究会を原則として月 1 回程度開催している。産官学が緊密に連携したこの取組は 2009 年 4 月に BCAA アワード 2008 大賞に選定されるなど、BCP の県内浸透に貢献している。2009 年度も 9 回の研究部会に加えて、講演会、BCP 入門セミナーなどを大学と県との共催で開催したほか、BCP 未策定企業への BCP 普及を 1 つの目的として企業防災状況に関するヒアリング調査も実施した。本報告では 2009 年度に本センターが核となって実施した BCP 推進方策と未策定企業でのヒアリング結果について紹介する。

2. BCP 研究部会活動状況

研究部会は 5～翌 3 月までの 11 回を予定していたが、新型インフルエンザが流行の兆しを見せた 5 月と講演会を開催した 11 月に休会とし、9 回開催した。2009 年 3 月時点での会員は 40 社で、毎回、約 20 社（約 30 名）の企業が参加している。2 年以上研究部会を続けているため、BCP の策定レベルが企業によって異なっている。そこで、簡易的な BCP を 1 年かけて策定することを目標とするクラス（初級部会）とそれ以上のクラスとに分けて、部会活動を行った。初級部会では、BCAA 中小企業 BCP ステップアップガイド Ver.4.0 の 1 部と 2 部を 1 年間で作成できるようにカリキュラムを作成した。毎回 3～5 ステップの解説を受けた後、翌月に解説を受けたステップについて各社が策定結果を報告し、意見交換を行う形で進められた。また合同部会では、BCP 策定企業から自社の BCP の紹介、新型インフルエンザ対策、BCP の策定や改善のために必要な最新トピックスなど、毎回異なる話題について情報交換が行われた。また、2010 年 2 月、3 月に行われた研究部会では、中小企業 BCP 策定個別相談会（徳島県中小企業中央会との共催）も同時に開催し、個別相談会で、相談員として来徳された萩原正五郎氏（NPO ビジネスアシストこうべ・理事）、辻田満氏（NPO シビルサポートネットワーク・代表理事）にも部会に加わってもらって、講演とアドバイスをいただいた。

3. BCP に関する研修会、講演会の開催

BCP 策定企業を開拓するために BCP 入門セミナー（BCP 策定研修会）を徳島市と県西部の美馬市、県南部の阿南市の 3 ヶ所で開催した。参加者数は、延べ 40 社 51 名であった。研修内容は、徳島県の担当者から「徳島県の取り組みについて」、徳島大学が BCP 入門として「企業防災と BCP」、「中小企業ステップアップガイド第 1 部の解説と実習」「同 2 部の解説」で、1 日で速習するものである。研修者に対して、BCP の認知度についてアンケートした（回答数 45 名）ところ、『BCP について初めて知った』（18%）、『BCP について知ってはいたが、策定に関わっていない』（48%）で、参加企業の半数以上が、BCP 策定に取り組んでいないことが分かった。しかし、この研修会をきっかけに、5 社の企業が BCP 研究部会メンバーとなり、策定に取り組み始めている。なお、この策定研修会のほかに、BCP に関する講演会等を表 1 に示す。

4. 徳島県内企業ヒアリング調査

活発に BCP 策定支援を行っているが、まだまだ策定企業の広がり是不十分な状況である。そこで県内企業

キーワード BCP、企業防災、中小企業ステップアップガイド、表彰制度

連絡先 〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町 2-1 徳島大学環境防災研究センター TEL:088-656-8965
 〒770-8570 徳島県徳島市万代町 1-1 徳島県商工労働部商工政策課 TEL:088-621-2897

の企業防災に対する取組状況や BCP 策定のためのボトルネックを把握することが重要と考え、2009 年 10 月下旬から 2010 年 2 月にかけて、徳島県内の中小企業（30 人以上 300 人未満）を対象にヒアリング調査を行った。業種関係なく 20 社の企業から回答を得られた。ヒアリング調査結果について表 2 に示す。なお、企業訪問に際して BCAO ステップアップガイドを持参し、BCP の必要性や策定方法についても短時間で説明し、啓発にも務めた。その結果、訪問企業の 1 社は BCP 研究部会に参加することになった。

表 1. 環境防災研究センター主催で行った BCP に関する講演会等

	開催日	場所	参加者数
地域建設企業のための「災害時事業継続」講演会	2009 年 8 月 28 日(金)	徳島県建設センター	211 名
経営者のための BCP セミナー	2009 年 11 月 16 日(月)	阿波観光ホテル	99 名
第 1 回徳島県建設 BCP 研究会	2009 年 10 月 6 日(火)	徳島県建設センター	19 社 30 名
第 2 回徳島県建設 BCP 研究会	2009 年 12 月 8 日(火)	徳島県建設センター	16 社 26 名
第 3 回徳島県建設 BCP 研究会	2010 年 2 月 23 日(火)	徳島県建設センター	15 社 20 名

表 2. 徳島県内企業防災ヒアリング調査結果

ヒアリング項目	ヒアリング結果
①過去の被災経験の有無	業務に問題がでるような災害にあった企業はほとんどない。大雨による浸水、落雷による停電、台風の強風による看板の落下などの被害にあった企業はその後、対策を立てているところが多い。
②防災担当部署、予算等など	主に総務部や安全管理担当の者が防災対策を担っている。ISO 取得企業は、ISO 内で防災対策を取っている。しかし、防災関係に割かれる時間は数パーセントで多くない。
③防災計画、防災マニュアルの作成状況	防災計画、防災マニュアルがある企業も少なくないが、工場内の安全性に関するもの、消防法に基づくもの、ISO 規定の防災対策などが多い。また、あったとしても、文書化されていない。
④災害後すぐ対応すべき重要業務、目標復旧時間	業種により、重要度、目標復旧時間にばらつきがある。災害が起きたら、すぐに対応しなければならない商品を販売、提供している企業は、すぐに供給できる体制がある、または考えている。特殊生産制、少量多品種生産制の企業は早急に対応する業務はない、と考えているところが多い。
⑤社屋等の安全対策	工場を持っている企業に関しては、工場内の荷物転倒防止、積み上げるものの高さ制限、棚の固定、避難通路の確保など地震対策を取っているところが多い。社屋全体の耐震診断などを行っている企業は少ない。
⑥重要データの保管・管理状況	ほとんどの企業がバックアップ体制は取っており、媒体としては HDD、USB などの電子媒体への保存、また紙ベースの書類については耐火性のある金庫に保存している企業もある。しかし、バックアップ体制はほとんどが社内での一括管理である。
⑦危険物の保管・管理状況	ISO 取得企業は、ISO 規定の中で危険物に関する体制が整っている。
⑧従業員への安全教育	消火訓練など、火災に関する訓練を行っているところは多いが、地震に関する訓練を行っているところは少ない。
⑨緊急連絡網について	ほとんどの企業が緊急連絡網を持っているが、それを使用する訓練はほとんど行われていない。
⑩取引機関等との連携状況	ほとんどの企業が取引企業との緊急時の対応についての契約等はない。いくつかの企業では、取引企業から、会社の実態についての調査、要望がある。
⑪非常食等の備蓄について	非常食等の備蓄をしている企業はほとんどないが、新型インフルエンザ流行により、マスク・消毒液の備蓄がある企業がいくつかある。また業種によって、自家発電機を所有している企業が多くある。
⑫BCP 作成予定、また策定の上でのボトルネック	BCP 策定の予定を明確に答えた企業はほとんどない。BCP の必要性は十分に分かっているが、実際に策定を行う人員・経費がない、社内全体に BCP が浸透しないなどの問題が多いため、なかなか策定の実行に移せないのが現状である。

4. まとめ

これから起こりうる南海地震または、それ以外の災害（豪雨災害、感染症など）に関して、危機感は十分にあり、BCP に関心を持つ企業は多いが、実際に BCP 策定に取り組んでいる企業は少ないのが現状である。しかし、策定研修会やヒアリング調査より、研究部会に参加し、BCP 策定を始めた企業が少しずつ増加している。徳島県では BCP 推進方策の 1 つとして策定企業を対象とした優良企業表彰制度が設けられているが、不景気の中、BCP 策定を始めようという気にさせるためのインセンティブとしては十分に機能していない。建設業ではすでに関東地整と四国地整で事業継続力認定の試行が始まっているが、こうした制度を徳島県でも導入できないか検討中である。中小企業では人員・経費面で余裕がないことがボトルネックとなっており、この解消策の 1 つとして BCP 研究部会のような情報交換の場は有用であると思われる。